

平成 19 年度九州学生ラグビーリーグ戦 開催規約および実施要項(案)

1. 名称

本リーグ戦を九州学生ラグビーリーグ戦(部、部、部)と称する。

部リーグ戦とは、1 チーム当り各チーム所属の部Aパート、Bパートのリーグ戦(対戦3チーム×2試合)6試合及び順位決定のトーナメント戦3試合の計9試合を意味する。

部リーグ戦とは、部参加チームによるリーグ戦を意味する。

部リーグ戦とは、各地区のリーグ戦と九州地区対抗大学大会(部リーグ優勝決定トーナメント戦)を意味する。

2. 主旨

九州地区大学ラグビーの競技力向上を図るため、試合の機会をより多く与え、大学チーム間の親睦とラグビーの発展、強化、普及に寄与する。

3. 主催及び主管

本リーグ戦は九州ラグビーフットボール協会が主催する。

本リーグ戦の競技は、各県協会が主管する。

4. 運営

本リーグ各部(部、部、部)の運営は、九州大学委員会の別に定める(運営委員会)とする。運営補助は学生実行員が行う。

5. 表彰

本リーグ各部(部、部、部)の優勝チームを表彰する。

6. 加盟

本リーグ戦への加盟は九州ラグビーフットボール協会に加盟し傷害見舞共済制度に加入している大学チームとし、部8チーム、部8チーム、部5地域(福岡地区A・B、北部地区、中部地区、南部地区、沖縄地区)のチームに分類する。

本年度の加盟チームは、次の通りとする。

部リーグ：鹿児島大学、九州大学、九州共立大学、九州産業大学、志学館大学、長崎大学、福岡工業大学、福岡大学(8チーム)

部リーグ：沖縄国際大学、鹿屋体育大学、北九州大学、九州国際大学、熊本大学、久留米大学、西南大学、日本文理大学、(8チーム)

部リーグ：福岡地区A(福岡県Aリーグ6チーム)；

福岡教育大学、九州工業大学、九州歯科大学、九州大学医学部、福岡経済大学、福岡歯科大学
北部地区(4チーム)；

佐賀大学、佐賀大学医学部、長崎大学医学・歯学部、長崎大学経済学部
中部地区(4チーム)；

大分大学、熊本学園大学、崇城大学、立命館アジア太平洋大学
南部地区(4チーム)；

宮崎大学、鹿児島大学医・歯学部、鹿児島国際大学
沖縄地区(2チーム)；

琉球大学、名桜大学

7. リーグ加盟チームの義務と開催方法

部優勝チームは全国大学ラグビー選手権への出場資格を与え、その義務を負うものとする。

部優勝チームは全国地区対抗大学大会への出場資格を与え、その義務を負うものとする。

部(5地域：福岡地区A、北部地区、中部地区、南部地区、沖縄地区)各地区の代表チームは九州地区対抗大学大会(部優勝決定トーナメント戦)への出場資格を与え、その義務を負うものとする。

リーグ戦及び部リーグ地区対抗大会(部リーグ優勝決定戦)の組み合わせ

部・部リーグ戦の組み合わせと部リーグ福岡地区A・Bリーグ戦の組み合わせ及び実施場所は、毎年2月の九州協会主催のスケジュール会議にて行う。

部リーグ北部地区、中部地区、南部地区、沖縄地区の組み合わせ及び実施場所は、各地区県協会大学委員長の指導のもと決定し、開催場所の各県協会にスケジュールを報告する。

部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)は毎年11月に行う。

部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)の構成チームは出場チームの数は原則として8チームとし、各地域の試合数に応じて各地域からの出場チーム数を決定する。

1) 福岡地区A(7チーム)：1位～3位の3チーム

2) 北部地区(4チーム)：1位の1チーム

3) 中部地区(4チーム)：1位の1チーム

4) 南部地区(4チーム)：1位の1チーム

5) 沖縄地区(2チーム)：1位の1チーム

6) 開催県 (1チーム): 大学委員会で選考

部リーグ北部地区、中部地区、南部地区、沖縄地区及び開催県1チームの組み合わせ及び実施場所は、7月の第1回九州協会大学委員長会議で決定する。

8. 参加資格

参加資格は九州ラグビーフットボール協会に加盟し、傷害見舞共済制度に加入している大学チームとする。

参加選手は大学に在籍する正規の学生及び26歳以下の大学院生であり、且つ個人登録している者であること。研究生、科目等履修生、聴講生、研修生などは正規の学生に含まない。外国籍の選手は当該年度4月までに正規学生として入学し、その後継続的に日本に居住し、部員として練習その他の活動を共にしていること。

登録選手は毎年5月末までに、所定の名簿で九州協会に提出しなければならない。

名簿提出後、負傷その他の事情により選手追加、変更の場合は毎年8月末日までに、書面をもって九州協会宛に届け出なければならない。

試合出場交代選手は登録選手の中から該当試合前に提出した22名の選手内であること。

財団法人日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に反するものは参加を認めない(外国人選手)。

その他、参加資格に疑義がある場合は、九州協会において裁定する。

9. 競技規則

財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。

部、部の試合時間は40分ハーフとする。部各地区の試合時間は原則として35分ハーフとし、部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)の決勝戦のみ40分ハーフとする。

リーグ戦 部の試合は、加盟8チームが前年度上位4チームのAパートと前年度下位4チームのBパートの2パートに分かれ対戦1チームに対し2試合ずつのパート戦を行なった後、順位決定トーナメント戦を行なう。

リーグ戦 部の試合は一部有料試合とする。運営は学生実行委員会が行う。

リーグ戦での対戦チームどうしの勝敗の決定方法

1) 同点の場合は引き分けとする。

2) 棄権したチームは不戦敗とし、相手チームの不戦勝とする。

3) 部及び部リーグで棄権したチームは、リーグ戦での順位に関係なく自動降格になる。

部リーグでの順位決定方法

) プール戦の各パートの順位決定は、勝ち点とボーナス点により獲得点数の多いチームが上位となる。

a. 勝ち点: 4点、引き分け: 2点、負け: 0点

b. ボーナス点: 1) 負けても7点差以内なら1点、2) 勝敗に関係なく4トライ以上獲得で1点

3) 不戦勝チームに1点

) プール戦の勝ち点とボーナス点による獲得点数が同点の場合は、以下の順序で順位決定する。

< 2チーム同率の場合 >

a. 直接対決で勝利を収めているチームを上位とする。

b. 当該チーム間の試合でトライ数の多いチームを上位とする。

c. トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

d. パート戦全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。

e. パート戦全試合の合計トライ数の多いチームを上位とする。

f. 上記で決定できないときは、抽選とする。

< 3チーム以上同率の場合 >

当該チーム(3チーム以上)との対戦試合で

a. トライ数の多いチームを上位とする。

b. トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

c. リーグ戦全試合で総得失点差の多いチームを上位とする。

d. リーグ戦全試合の合計トライ数が多いチームを上位とする。

e. 上記で決定できないときは、抽選とする。

) トーナメント戦で次の試合への出場チームが決まらない場合は、以下の方法により決定する。

a. トライ数の多いチームを上位とする。

b. トライ数が同数の場合はトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

c. リーグ戦の上位チーム。

d. リーグ戦で同率の場合は、リーグ戦の2チーム同率の場合の上位決定法による。

e. 上記で決定できない時は抽選で決める。

) 決勝で同点の場合は両チーム優勝とし、上記)の方法で大学選手権出場校を決める。

部リーグでの順位決定方法

) 順位決定は、部リーグパート戦の順位決定方法と同様に勝ち点制による。

) 複数チームが同率の場合は、部リーグパート戦の順位決定方法< 2チーム同率の場合・3チーム以上同率の場合 >による。

部リーグでの順位決定方法

) 各地区リーグ戦の順位決定は、以下の順序で順位決定する。

- a . 直接対決で勝利を収めているチームを上位とする。
- b . 当該チーム間の試合でトライ数の多いチームを上位とする。
- c . トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
- d . リーグ戦全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。
- e . リーグ戦全試合の合計トライ数の多いチームを上位とする。
- f . 棄権チームを最下位とする。
- g . 上記で決定できないときは、抽選とする。

< 3チーム以上同率の場合 >

当該チーム（3チーム以上）との対戦試合で

- a . トライ数の多いチームを上位とする。
- b . トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
- c . リーグ戦全試合で総得失点差の多いチームを上位とする。
- d . リーグ戦全試合の合計トライ数が多いチームを上位とする。
- e . 上記で決定できないときは、抽選とする。

) 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)の順位決定は以下の順序で順位決定する。

- a . トライ数の多いチームを上位とする。
- b . トライ数が同数の場合はトライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
- c . 上記で決定できない時は抽選で決める。

10. 入替戦の出場義務並びに資格

本リーグ戦の 部、 部、 部リーグの入替戦は毎年 12 月に行う。

以下の項目に該当するチームは入れ替え戦に出場する義務を有する。

部リーグ 7 位チームと 8 位チーム。

部リーグ 1 位チームと 2 位チーム。

部リーグ 7 位チームと 8 位チーム。

部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)の 1 位チームと 2 位チーム。

ただし、入替戦に支障が出た場合、代表者会議で決議する。

入替戦の対戦方法は次の要領で行う。

部リーグと 部リーグの入替戦

- 1) 部リーグ 7 位チームは 部リーグ 2 位チームと行う。
 - 2) 部リーグ 8 位チームは 部リーグ 1 位チームと行う。
 - 3) 部リーグのチームがリーグ戦(パート戦及びトーナメント戦)を 1 試合でも棄権した場合、棄権チームは 部へ自動降格となり、 部 1 位のチームが自動昇格する。
 - 4) 部の棄権チームが 1 チームの場合、棄権チームを除く最下位チームが 部 2 位のチームが入れ替え戦を行う。
 - 5) 部リーグの複数のチームが棄権した場合は、 部リーグの上位から自動昇格する。
 - 6) 部リーグ 1 位チームが棄権した場合は、 部リーグ 8 位チームと 部リーグ 2 位チームが入替戦を行う。
 - 7) 勝ったチームが次年度 部リーグで行う。
 - 8) 同点の場合は上位リーグのチームが残留する。
- 部リーグと 部リーグの入れ替え戦
- 1) 部リーグ 7 位チームは 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会) 2 位チームと行う。
 - 2) 部リーグ 8 位チームは 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会) 1 位チームと行う。
 - 3) 部リーグのチームがリーグ戦を 1 試合でも棄権した場合、棄権チームは 部へ自動降格となり、 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会) 1 位のチームが自動昇格する。
 - 4) 部の棄権チームが 1 チームの場合、棄権チームを除く最下位チームが 部 2 位のチームが入れ替え戦を行う。
 - 5) 部リーグの複数のチームが棄権した場合は、 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会)の上位から自動昇格する。
 - 6) 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会) 1 位チームが棄権した場合は、 部リーグ 8 位チームと 部リーグ優勝決定トーナメント戦(九州地区対抗大学大会) 2 位チームが入替戦を行う。
 - 7) 勝ったチームが次年度 部リーグで行う。
 - 8) 同点の場合は上位リーグのチームが残留する。

11. 競技方法

競技の執行

部・ 部リーグの競技の執行は、 部・ 部リーグ運営委員会のもと学生実行員が行う。

部リーグの競技の執行は、各地区県協会大学委員長の指導のもと各地区運営委員会及び学生実行委員会、各ゲーム担当（当番）チームが行う。

競技の棄権、中止及び延期

当該チームのどちらかに何らかの支障があり、棄権もしくは期日の変更を余儀なくされた場合は、そのチームの責任者は少なくとも1週間前までに学生実行委員会に報告し、所属リーグ運営委員長及び学生実行委員会、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会大学委員長、九州協会にクラブ代表部長（教員・職員）の署名捺印のある書面をもって理由を報告しなければならない。

学生実行委員長は上記の連絡及び理由書を受託後、速やかに運営委員会及び学生実行委員会に諮り、競技の中止及び延期を決定し、所属リーグ運営委員長、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会大学委員長、九州協会に報告する。

学生実行委員長は台風等の天候悪化、自然災害により競技の実施が困難な場合は、運営委員会及び学生実行委員会に諮り、競技の中止及び延期を決定し、所属リーグ運営委員長、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会大学委員長、九州協会に報告する。

決定後、レフリー、タッチジャッジ並びに競技関係者へ直ちに決定を連絡する。

レフリー及びタッチジャッジ

レフリー及びタッチジャッジは九州協会及び各県レフリーソサエティで指名された者とする。

部・部リーグのレフリー及びタッチジャッジの依頼は、九州協会レフリーソサエティが行う。

部リーグ各地区のレフリー及びタッチジャッジの依頼は、各県協会レフリーソサエティが行う。

タッチジャッジの派遣者がいない場合は、公平で厳正なジャッジができる第三者が行い、止むを得ない場合のみ両チーム合意の上で経験豊かな当該チーム関係者が行う。

第三タッチジャッジ派遣者がいない場合は、学生実行委員会、又は公平で厳正なジャッジができる第三者とし、やむを得ない場合のみ両チーム合意の上で当番チームが行う。

第三タッチジャッジは、試合開始の30分前までに、両チームのメンバー表の提出、及びレフリー、タッチジャッジ、ドクターの名前を確認の上、九州協会派遣者へ報告する。

メディカルサポーター

メディカルサポーターは、各チームより有資格者を1名出し、必ず協会指定の腕章を付ける。

ボール及びボールボーイ

試合ボールは協会から配給されたボールを用い3ボール制とする。協会からの配給がない場合は各チームから供出する。

ボールボーイは、当番チームより4名を出す。

ドクター及び救急対策

マッチドクターは九州協会及び各県協会指定された者とする。

試合中の負傷についてレフリーの要求が合った場合は、担当のマッチドクターが処置をし、チームドクターはグラウンドに入らない。

マッチドクターが派遣されていない場合は、当該チームのチームドクターに依頼する。

ドクターがいない場合はレフリーの判断に委ねる。

試合中各世話係は、レフリー又はドクターの指示が合った場合及びレフリーに許可を得た場合以外は、フィールドオブプレーには絶対に入らない。

ドクターがいない場合は、当番校は当日の救急病院を把握しておき、迅速に対処する。

ウォーターボーイ

試合中の水分補給のため各チーム2名までウォーターボーイを準備できる。

試合中の水分補給は、ボールデッド時に限り、グラウンド内に入れる。

記録

公式記録は両チームがそれぞれ本部席で行う。試合終了後、スコア及び試合経過の確認を協会派遣者で行い、当番校が協会派遣者とドクターのサインをもらい終了後直ちに協会へファックスで送る。

12. 競技上の留意事項

メンバー表提出

各チームは試合開始30分以上前に、所定の用紙に記載した試合メンバー表を学生実行委員会或はゲームを管轄する当番チームの責任者に提出しなければならない。

学生実行委員会或はゲームを管轄する当番チームの責任者は、試合メンバーについて別途協会に提出されているチーム別個人登録名簿に名前が記載されているか確認し、両チームの試合メンバー表のコピーを第3タッチジャッジ及び協会派遣者に提出する。

グラウンド入場

試合チームのグラウンド入場はキックオフ時刻10分前以内とする。

セカンドジャージ

両チームのジャージが似ている場合は実行委員会及びレフリーの指示によりセカンドジャージを着用する。

キックティ

キックティを使用する場合はチームで準備し、ゲーム中チームのメディカルサポーターが管理する。

ドレスチェック

レフリーのドレスチェック（服装点検）があるが、事前にスタッドの交換、ねじ締め、爪切りをすませておく。キャプテンはレフリーにドレスチェックの時間・場所を確認しておく。

プレーヤーの服装は、平成13年度競技規則第4条「プレーヤーの服装」を厳守すること。

試合中ストッキングがずり落ちないように、プレーヤーに十分注意させる。

ジャージ、パンツがひどく汚れた場合はレフリーの指示によって取り換える。セカンドジャージ・パンツを準備する。

パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れること。また、ジャージの襟を内側に折り入れない。

選手の入替え、交替

選手の入替え、交替は第3タッチジャッジが管理し、必ず第3タッチジャッジを通して行わねばならない。

選手の入替え、交替は、レフリーの許可のもとに出入りする。

リザーブ選手の上限は7名とし、指名する人数とフロントローとして適切に訓練され、かつ経験のあるプレーヤーの人数は競技規則第3条5項に示される下記の通りである。

指名人数	フロントローの人数
15名以下	3名
16名から18名	4名
19名から22名	5名

選手の入替え、交替人数の総数上限は7名とする。

選手の負傷交替は医師の診断を受けてからとする。

ノンコンテストスクラム

退場、負傷が続きフロントローがいなくなった場合は、ノンコンテストスクラムを採用する。

ノンコンテストスクラムではスクラムを推さない、ボールを取り合わない。

ハーフタイム

ハーフタイムの休憩時間を10分以内とし、事前に、レフリー、両チームキャプテン及び協会派遣者を交えて時間の協議を行い、決定する。

ハーフタイムの時間が5分を超える決定をした場合、その間チームはフィールドオブプレーを離れることができる。

ハーフタイムの際、フィールドプレーに入ることができるのは8名までとする。そのチームの監督もしくはコーチなど1名、さらにメディカルサポーターと選手の世話係と定めた6名のみとする。

応援について

試合中、笛や太鼓等鳴物の使用は競技に支障を来すので厳禁する。

過度な応援は慎む。

すべての応援については一切チームが責任を持つ。

チームの応援用横幕は、縦1m以内、横5m以内の範囲で、協会とスポンサー契約をしていない企業名、マークは載せられない。事前に学生実行委員会に届け承認をもらう（1チーム2枚以内）。

その他

タッチジャッジ、メディカルサポーター、ボールボーイ、ウォーターボーイを学生が担当する場合は、服装を統一し、行動は機敏に行うよう各チームで指導する。また、ゲーム中にプレーヤーに指示を出したり、レフリーや相手チームの中傷を行わない。

部・部リーグ戦はテクニカルゾーンを採用する。

更衣室・選手控室の管理は使用チームが行う。試合終了後、更衣と清掃を速やかに行い、次の試合チームへ明け渡す。

選手は試合終了後裸体で更衣室・選手控室外に出ない。

13. 会場設営

当番校は次のことに責任を持つ。

競技場の使用確認、協会派遣理事、レフリー、ドクターへの連絡確認を1週間前までに行う。

変更がある場合は、

1) 部・部リーグ戦は運営委員長及び学生実行委員長に連絡し、対処する。

2) 部リーグは当該ゲーム地の県協会大学委員長及び学生実行委員長に連絡し、対処する。

競技場及びグラウンドの準備・設営

競技場を使用する場合：本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架、トラック横断用シート設置、チケット販売場

競技場以外で行う場合：テント、本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架

グラウンド：危険物の撤収・蔽い、ライン、コーナフラッグ

試合1時間前までに競技場及びグラウンドの準備を終える。
チケット・プログラム販売
関係者・観客の誘導
試合終了後の片づけ、清掃
単一ゲームの場合は、協会へ公式記録の送付、報道機関への連絡を行う。
学生実行委員会は次のことに責任を持つ。
競技運営を支障なく行うための計画、準備、実施、撤収。
1) 試合ボール、協会旗、タッチフラッグの準備。
2) 協会から派遣がない場合の第3タッチジャッジ。
3) 有料試合におけるアナウンス。
4) 協会関係者案内
5) その他
協会へ公式記録の送付、報道機関への連絡を行う。
その他競技運営上に生じた問題・支障に関して協議すること。

14. その他

本規約に定めない事項については、九州ラグビーフットボール協会大学委員会及び加盟代表者会議の決議により、これを決定する。

< 付則 >

九州ラグビーフットボール協会大学委員会申し合わせ事項

同一大学系列、同一キャンパス内にある短期大学生で、上記8の のチームで部員として練習その他の活動を共にしている正規の学生は、九州ラグビーフットボール協会大学委員会の申し合わせ事項として九州学生ラグビーリーグ戦に限り参加資格を認める。しかし、全国大会への出場参加資格は与えられない。

部リーグ地区大会における申し合わせ事項

チームのゲーム機会を失わせないため、競技は原則として15人制で行うが、参加チームの登録人数が15人に満たない場合、或いは試合開催日以前に何らかの支障があり15人が揃わないという明確な理由が事前に報告された場合、各地区大学委員長のもと当該両チームの協議を経たのち両チーム了解のもと12人制以上の人数の試合を行うことができる。但し、地区での勝敗には換算できるが、部リーグ優勝決定戦へは15人制ゲームの結果の上位チームが出場する。

部リーグ各地区において15名そろわないチームが複数ある場合は、コンバインドした1チームとして部リーグ各地区の予選に出場できる。但し、部リーグの優勝決定戦(地区対抗大会)には出場できない。

本規約は平成19年4月1日から実施する

本規約の改訂は、改訂案を九州ラグビーフットボール協会大学委員会で検討し、九州ラグビーフットボール協会理事会で審議了承された後、施行される。